

高知県内経済概況

平成30年7月



財務省高知財務事務所


高知県内経済概況

総	括	判	断	1	
個	人	消	費	2	
生	産	活	動	4	
雇	用	情	勢	6	
公	共	事	業	7	
設	備	投	資	8	
住	宅	建	設	8	
企	業	倒	産	9	
消	費	者	物	価	9
県内地域経済に関する生の声					10




【利用上の注意等】

計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があります。

県内経済は、緩やかに持ち直している

項目	前回(30年4月判断)	前回比較	今回(30年7月判断)
総括判断	緩やかに持ち直している		緩やかに持ち直している

総括判断の要点	<p>個人消費は、百貨店・スーパーが飲食料品で堅調なことから底堅く、コンビニエンスストアも堅調に推移しているほか、ドラッグストア販売額などで前年を上回っていることから、全体としては緩やかに持ち直している。生産活動は、機械・電気機械における建設機械で高い生産水準を維持しており、工作機械が順調となっているものの、食料品で持ち直しの動きに一服感がみられることから、総じてみれば緩やかに持ち直している。雇用情勢は、改善しており、人手不足感が広がっている。</p>		
---------	--	--	--

項目	前回(30年4月判断)	前回比較	今回(30年7月判断)
個人消費	緩やかに持ち直している		緩やかに持ち直している
生産活動	緩やかに持ち直している		緩やかに持ち直している
雇用情勢	改善しており、人手不足感が広がっている		改善しており、人手不足感が広がっている

公共事業	前年度を下回っている		前年度を上回っている
設備投資	29年度は前年度を下回る見込み		30年度は前年度を上回る見通し
住宅建設	前年を上回っている		前年を下回っている

(注) 30年7月判断は、前回4月判断以降、足下(7月末)の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費 緩やかに持ち直している

百貨店・スーパーは、衣料品や身の回り品が弱まっているものの、飲食料品が堅調となっているほか、高額商品にも動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。

コンビニエンスストアは、惣菜を中心とするプライベートブランド商品のほか、米飯類やファーストフードにも動きがみられることから、堅調となっている。

ドラッグストアは、日用品や化粧品に動きがみられることから、前年を上回っている。家電販売は、大容量タイプの白物家電やエアコンに動きがみられるものの、テレビやパソコンの動きが鈍くなっていることから、前年を下回っている。

ホームセンターは、天候不順により、季節商品の動きが鈍くなっているものの、取扱いを強化している自転車用品に動きがみられることから、前年を上回っている。

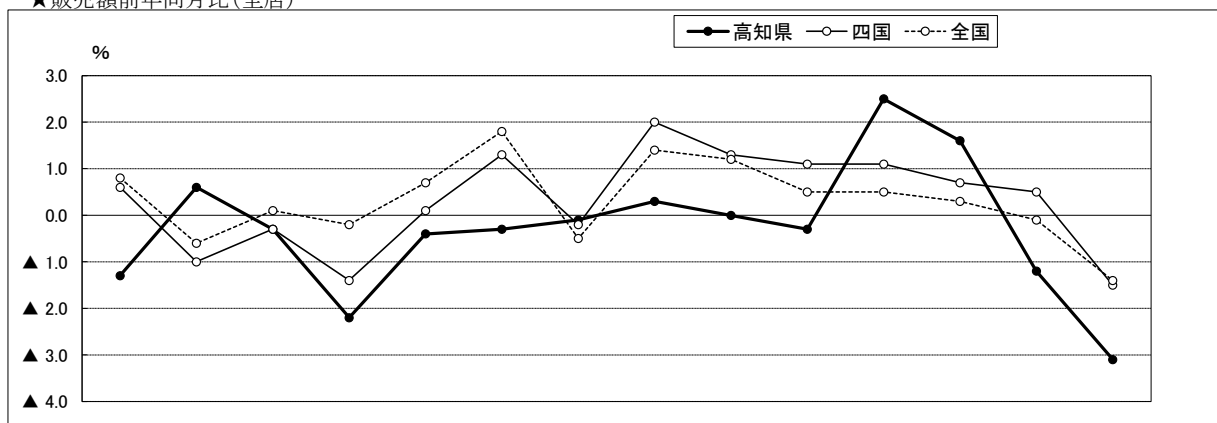
乗用車販売は、軽乗用車で小型車で前年を上回っているものの、普通車、小型車で前年を下回っていることから、全体としては前年を下回っている。

主要観光地の入り込み状況は、歴史を中心とするイベントや外国クルーズ客船寄港の効果により、好調となっている。

旅行は、海外旅行で底堅さが増していることから、全体としては持ち直している。

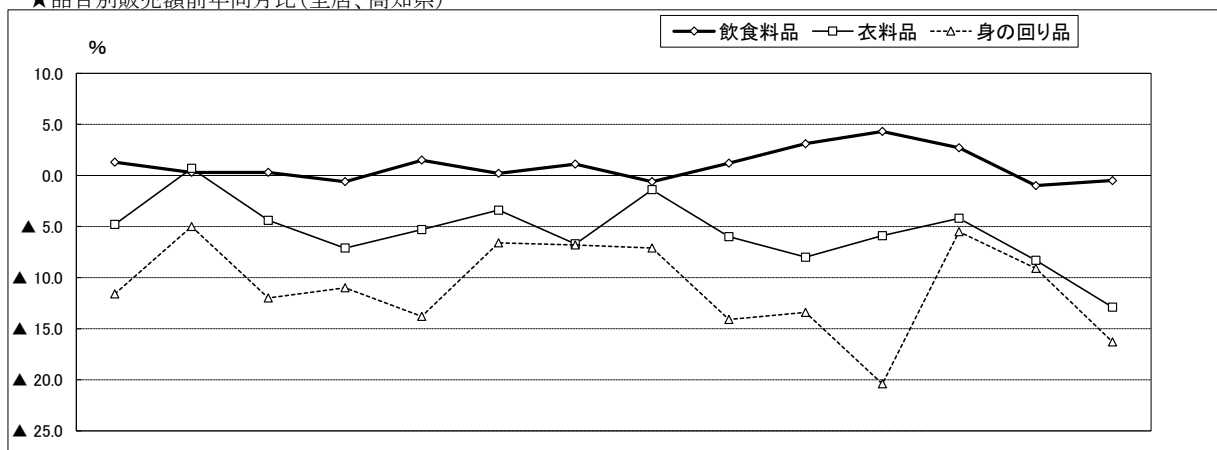
◎百貨店・スーパー販売状況

★販売額前年同月比(全店)



[資料:経済産業省、四国経済産業局]

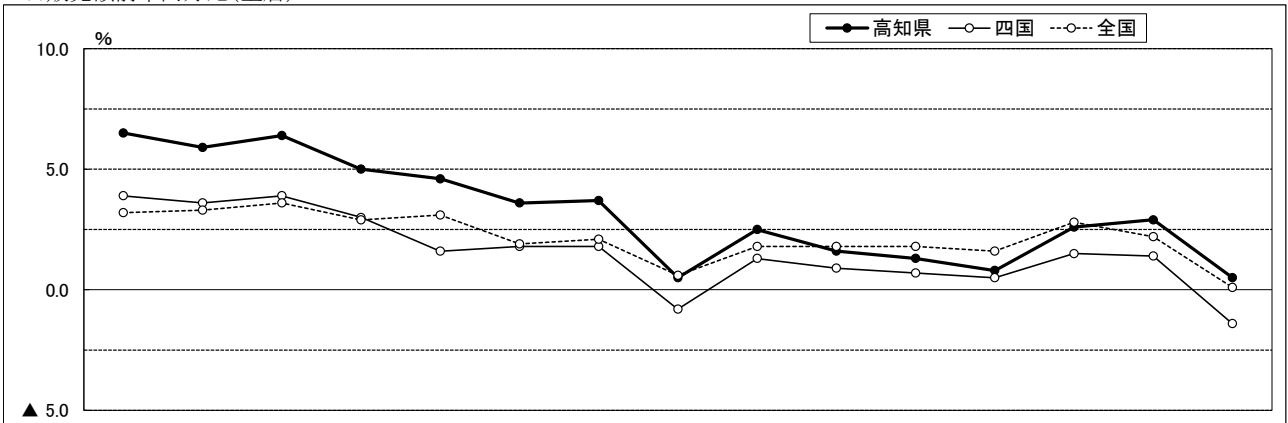
★品目別販売額前年同月比(全店、高知県)



[資料:四国経済産業局]

◎コンビニエンスストア販売状況

★販売額前年同月比(全店)

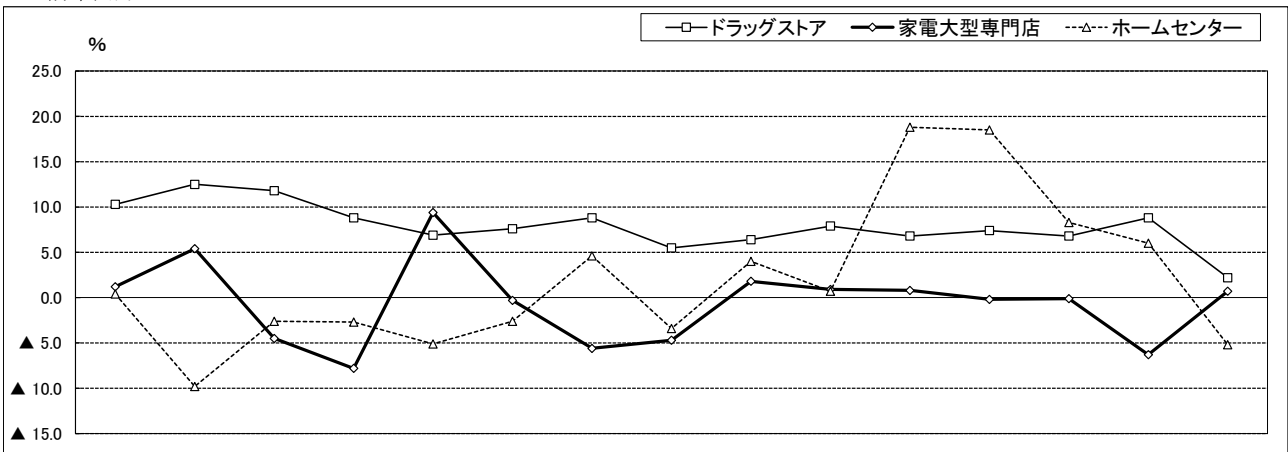


	29/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30/1月	2月	3月	4月	5月
高知県	6.5	5.9	6.4	5.0	4.6	3.6	3.7	0.5	2.5	1.6	1.3	0.8	2.6	2.9	0.5
四国	3.9	3.6	3.9	3.0	1.6	1.8	1.8	▲0.8	1.3	0.9	0.7	0.5	1.5	1.4	▲1.4
全国	3.2	3.3	3.6	2.9	3.1	1.9	2.1	0.6	1.8	1.8	1.8	1.6	2.8	2.2	0.1

[資料:経済産業省、四国経済産業局]

◎高知県の専門量販店販売状況

★前年同月比

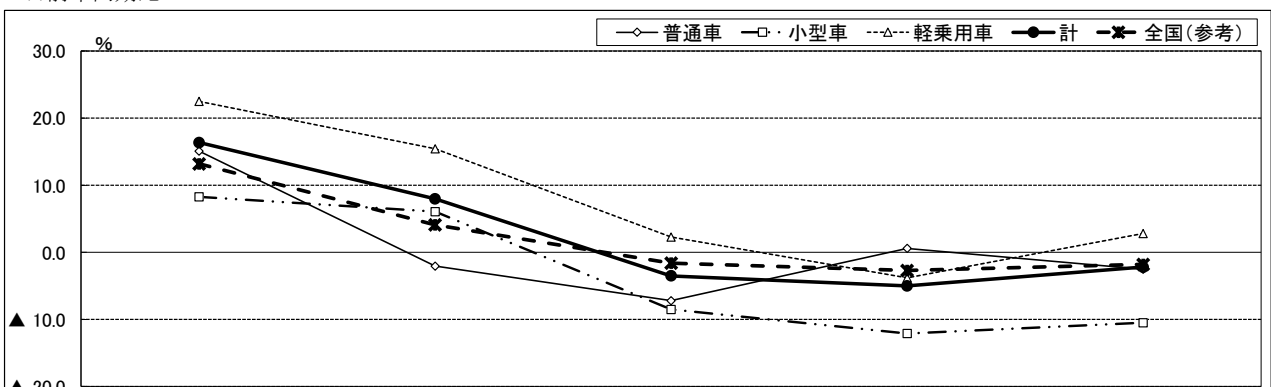


	29/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30/1月	2月	3月	4月	5月
ドラッグストア	10.3	12.5	11.8	8.8	6.9	7.6	8.8	5.5	6.4	7.9	6.8	7.4	6.8	8.8	2.2
家電大型専門店	1.2	5.4	▲4.5	▲7.8	9.4	▲0.3	▲5.6	▲4.7	1.8	0.9	0.8	▲0.2	▲0.1	▲6.3	0.7
ホームセンター	0.4	▲9.8	▲2.6	▲2.7	▲5.1	▲2.6	4.6	▲3.4	4.0	0.7	18.8	18.5	8.3	6.0	▲5.2

[資料:四国経済産業局]

◎高知県の乗用車販売状況

★前年同期比



	29年4~6月	7~9月	10~12月	30年1~3月	4~6月
普通車	15.1	▲2.1	▲7.2	0.6	▲2.5
小型車	8.3	6.1	▲8.5	▲12.1	▲10.5
軽乗用車	22.5	15.5	2.3	▲3.8	2.8
計	16.4	8.0	▲3.5	▲5.0	▲2.2
全国(参考)	13.2	4.1	▲1.6	▲2.7	▲1.8

[資料:四国運輸局]

生産活動

機械・電気機械は持ち直しつつある。食料品は持ち直しの動きに一服感がみられる。パルプ・紙は横ばいとなっている。窯業・土石、鉄鋼は緩やかに持ち直しつつある。

○機械・電気機械

建設機械や輸送機械は、高い生産水準を維持しており、工作機械が順調となっているほか、農業機械も底堅いものとなっている。

○窯業・土石、鉄鋼

海外需要が順調となっているほか、国内需要も引き続き自動車向けを中心に動きがみられることから、緩やかに持ち直しつつある。

○パルプ・紙

弱電用絶縁紙は、国内外ともに自動車や白物家電向けに動きがみられることから、一進一退で推移しており、衛生用紙は、繁忙期を問わず引き続き堅調となっている。

○食料品

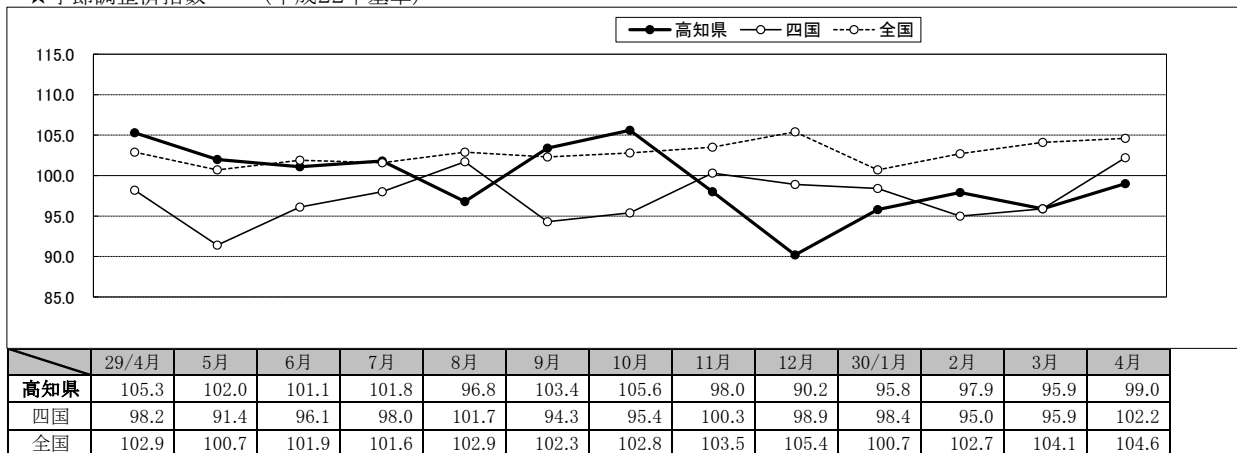
国内需要が堅調となっているものの、このところ持ち直しの動きに一服感がみられる。

○その他

銃砲は、高付加価値製品を中心に販売は底堅いものの、ライフル銃の生産・出荷不調が続いており弱い動きとなっている。

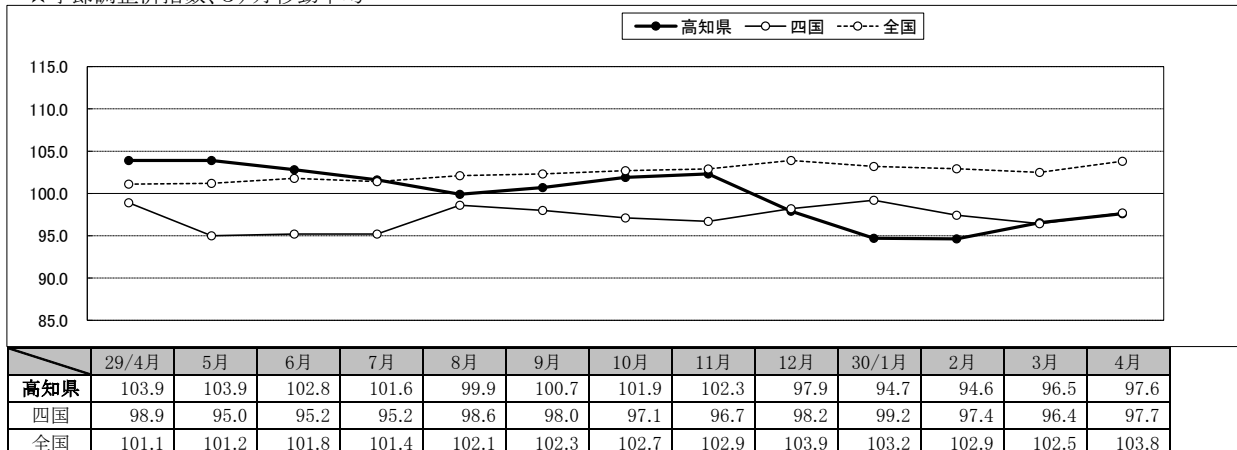
◎鉱工業生産指数

★季節調整済指数 (平成22年基準)



[資料:経済産業省、四国経済産業局、高知県統計分析課]

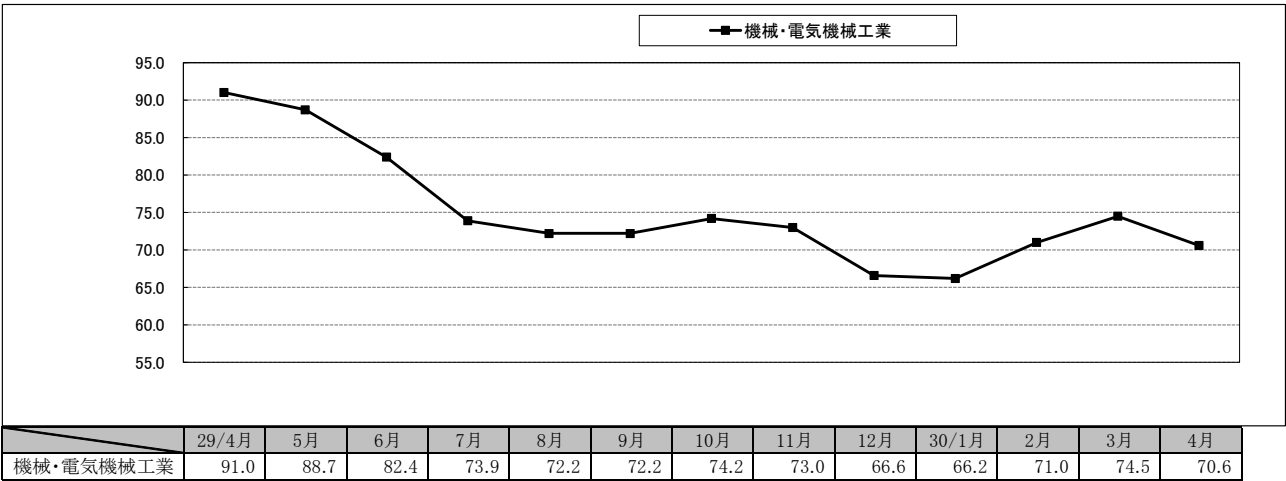
★季節調整済指数、3ヶ月移動平均



[資料:経済産業省、四国経済産業局、高知県統計分析課]

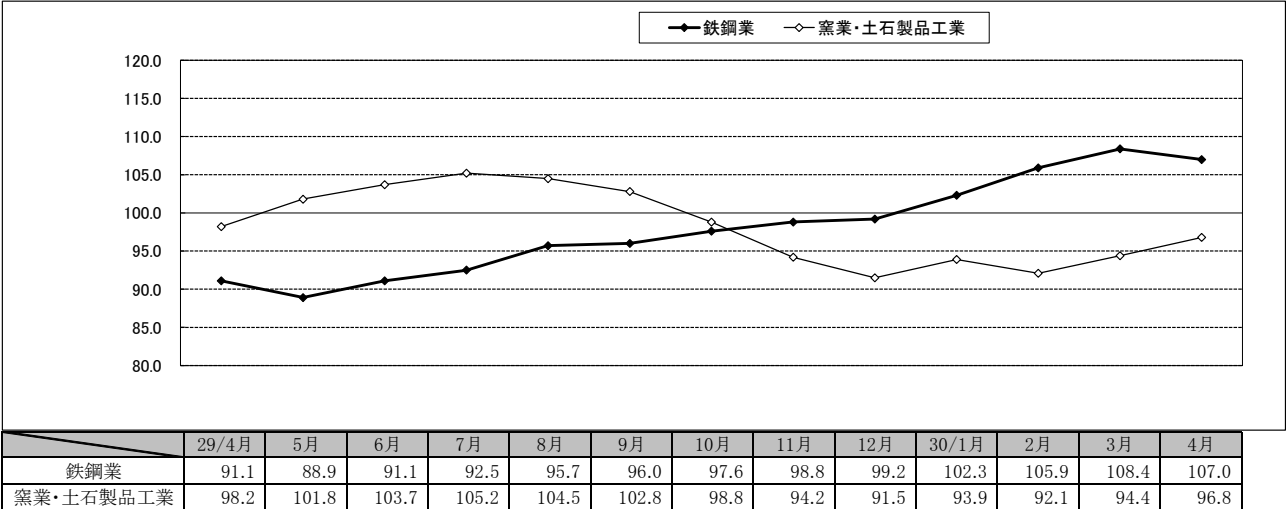
◎高知県の鉱工業生産指数

★加工組立型業種、季節調整指数、3ヶ月移動平均 (平成22年基準)



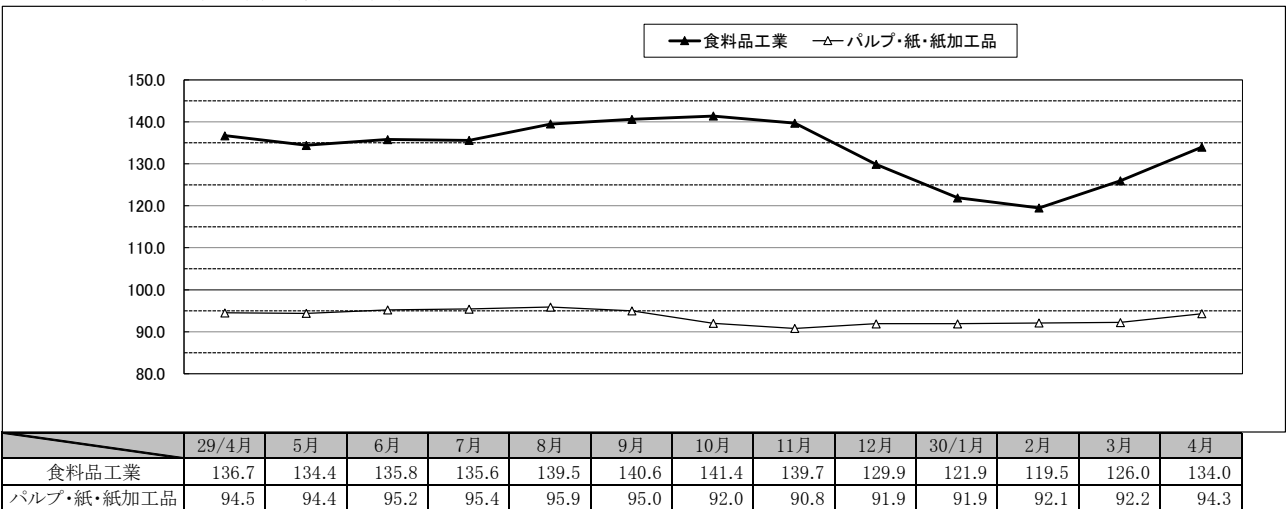
[資料:高知県統計分析課]

★基礎素材型業種、季節調整指数、3ヶ月移動平均 (平成22年基準)



[資料:高知県統計分析課]

★生活関連型業種、季節調整指数、3ヶ月移動平均 (平成22年基準)



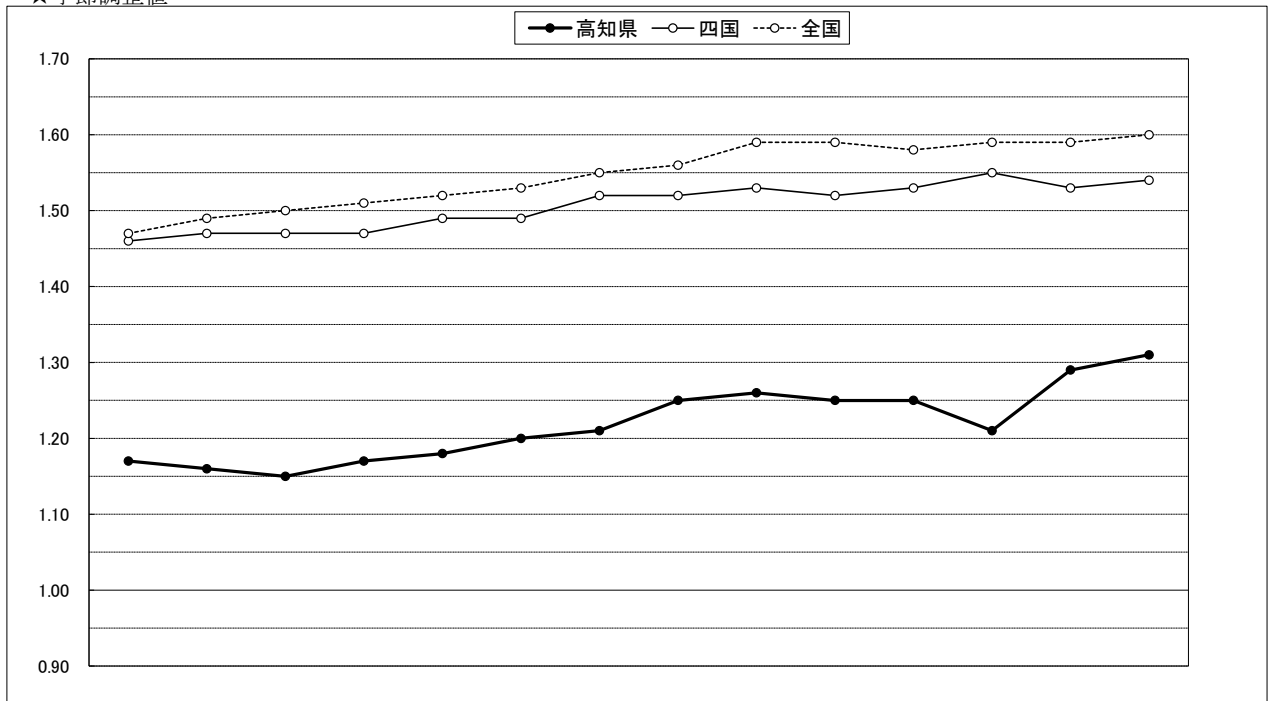
[資料:高知県統計分析課]

雇用情勢 改善しており、人手不足感が広がっている

有効求人倍率は、高水準で推移している。

◎有効求人倍率

★季節調整値

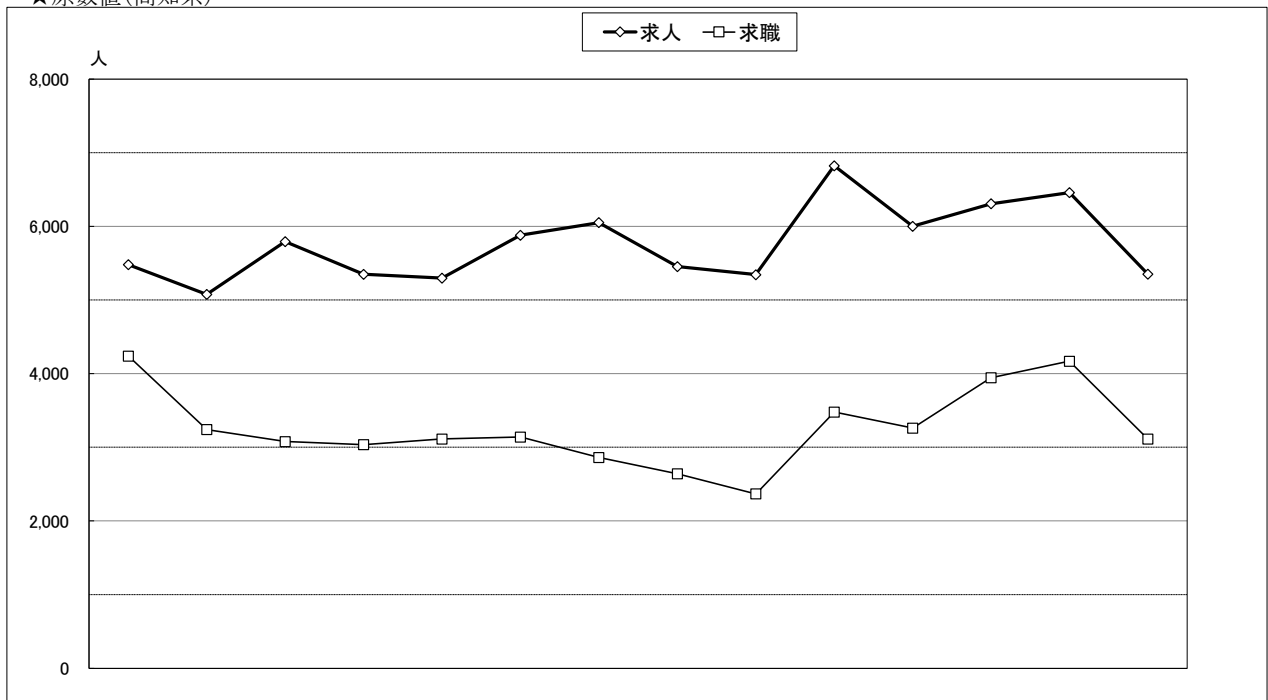


	29/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30/1月	2月	3月	4月	5月
高知県	1.17	1.16	1.15	1.17	1.18	1.20	1.21	1.25	1.26	1.25	1.25	1.21	1.29	1.31
四国	1.46	1.47	1.47	1.47	1.49	1.49	1.52	1.52	1.53	1.52	1.53	1.55	1.53	1.54
全国	1.47	1.49	1.50	1.51	1.52	1.53	1.55	1.56	1.59	1.59	1.58	1.59	1.59	1.60

[資料:厚生労働省]

◎新規求人数、新規求職者数

★原数値(高知県)



	29/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30/1月	2月	3月	4月	5月
求人	5,480	5,076	5,793	5,348	5,298	5,878	6,050	5,454	5,343	6,822	6,000	6,306	6,458	5,350
求職	4,237	3,241	3,078	3,036	3,112	3,138	2,861	2,639	2,368	3,478	3,261	3,945	4,168	3,112

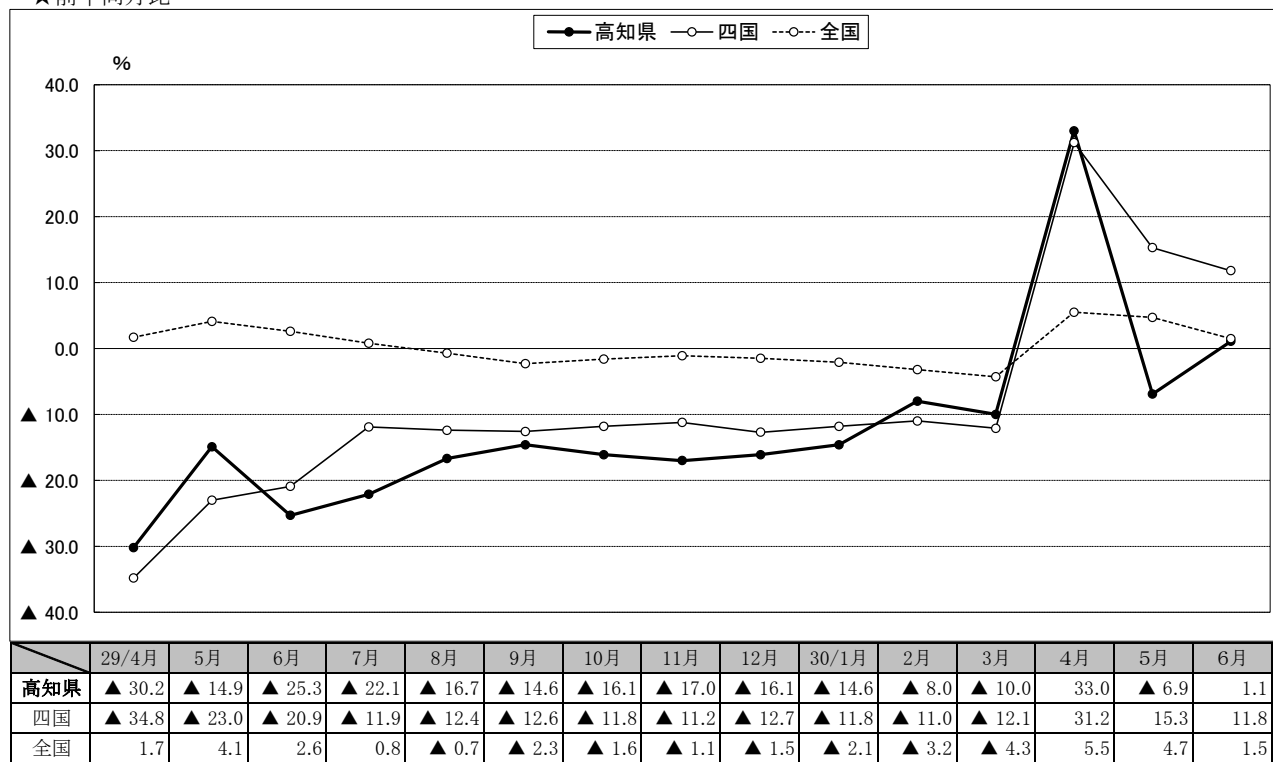
[資料:厚生労働省]

公共事業 前年度を上回っている

公共事業の動向を公共工事前払金保証統計の請負金額(30年度累計)でみると、国、独立行政法人等で前年度を上回っており、全体では前年度を上回っている。

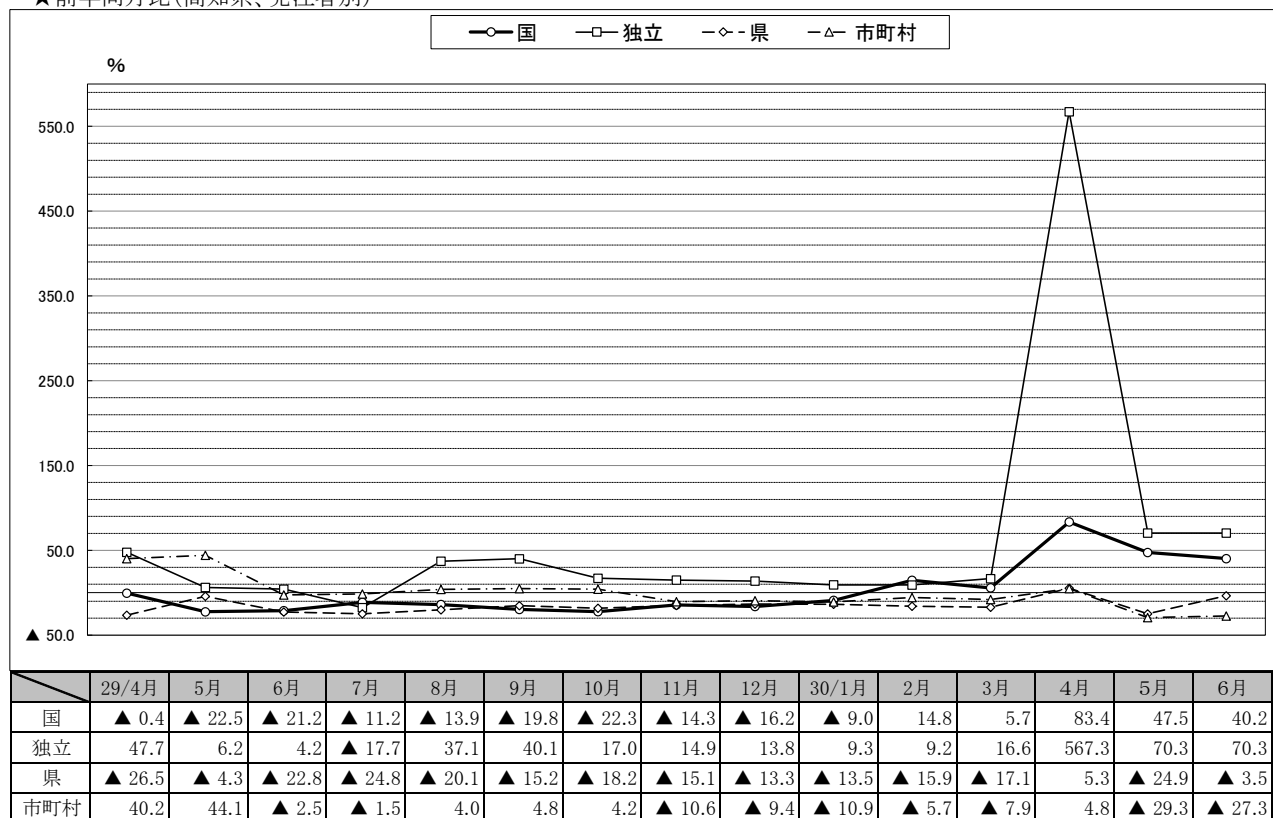
◎請負金額累計

★前年同月比



[資料:西日本建設業保証(株等)]

★前年同月比(高知県、発注者別)



[資料:西日本建設業保証(株等)]

設備投資 30年度は前年度を上回る見通し

企業の設備投資を法人企業景気予測調査(平成30年4～6月期調査)結果でみると、平成30年度は、製造業、非製造業ともに増加見通しとなっていることから、全体では前年度を上回る見通しとなっている。

◎設備投資対前年度増減率

単位: %

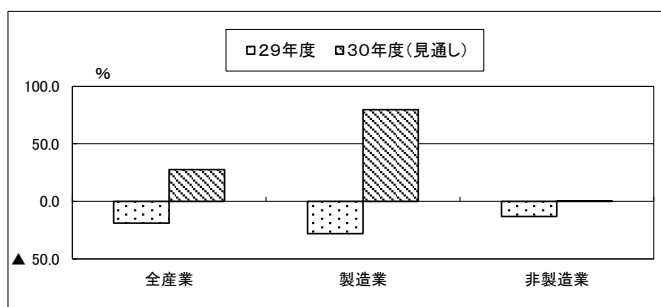
区分	29年度	30年度 (見通し)
全産業	▲18.9	27.6
製造業	▲28.0	79.6
非製造業	▲13.2	0.2

[資料:法人企業景気予測調査]

※土地購入額を除き、ソフトウェア投資額を含む。

※29年度は30年1～3月期調査結果。

※30年度(見通し)は30年4～6月期調査結果。

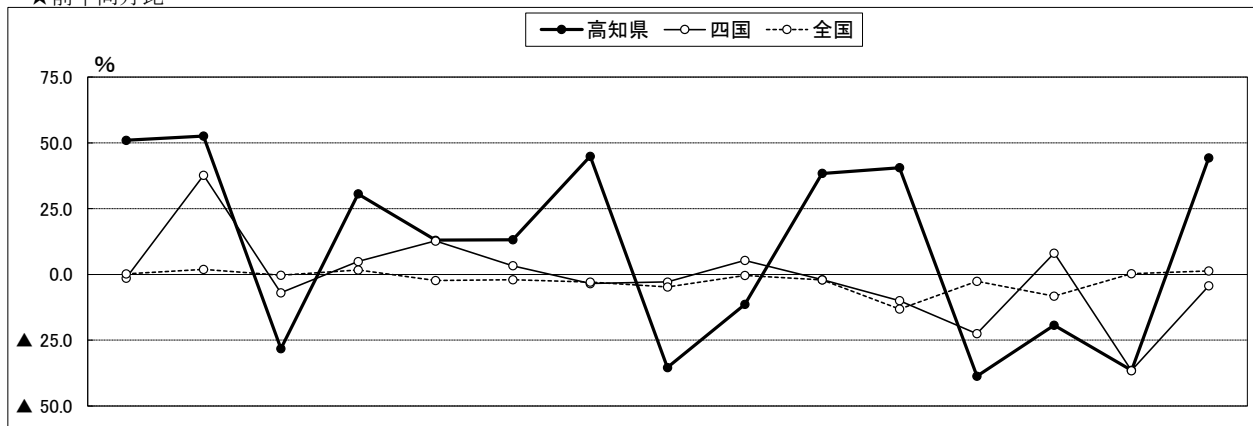


住宅建設 前年を下回っている

住宅建設を新設住宅着工戸数(平成30年3月～5月)でみると、持家、貸家、分譲ともに前年を下回っている。

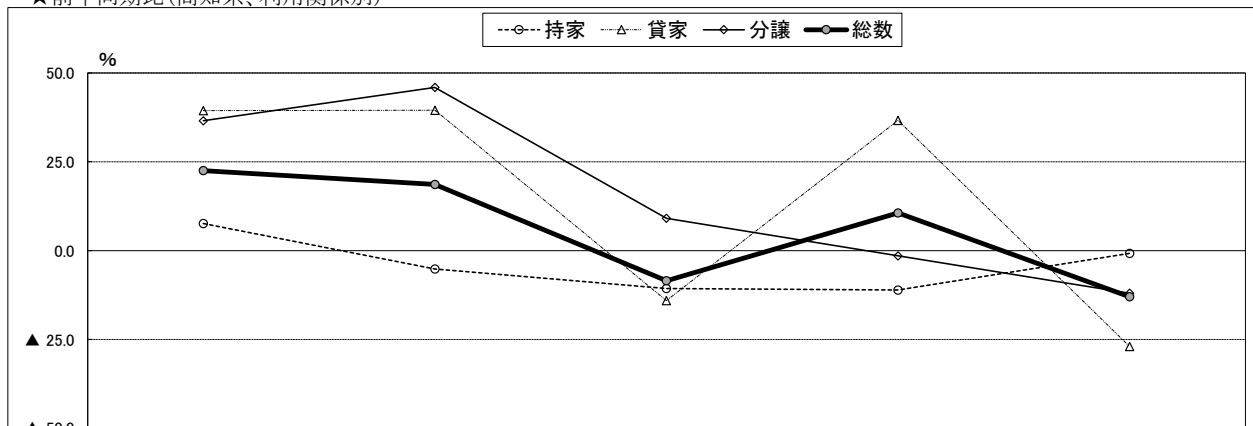
◎新設住宅着工戸数

★前年同月比



[資料:国土交通省]

★前年同期比(高知県、利用関係別)

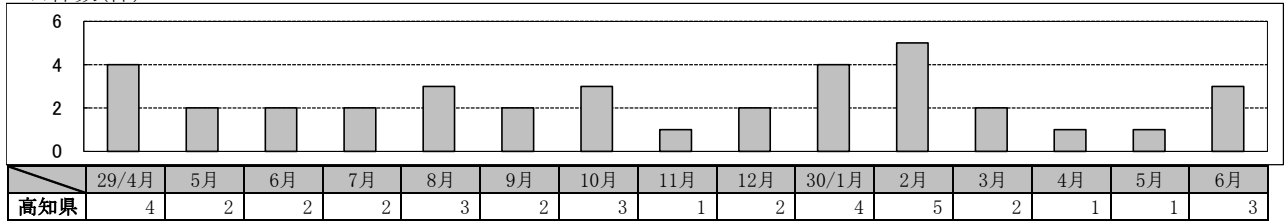


[資料:国土交通省]

企業倒産 件数、負債総額ともに前年を下回っている

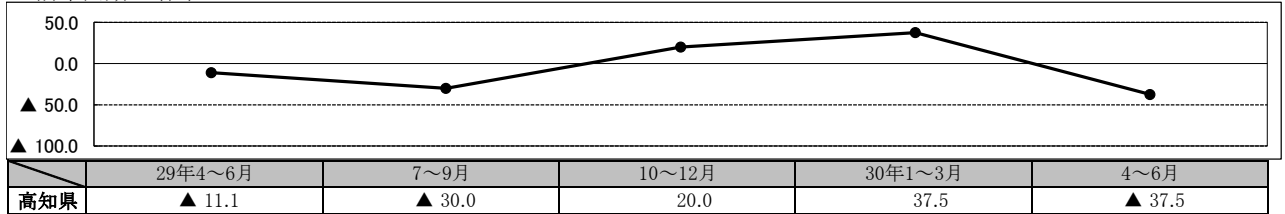
◎件数(高知県)

★件数(件)



[資料:東京商工リサーチ]

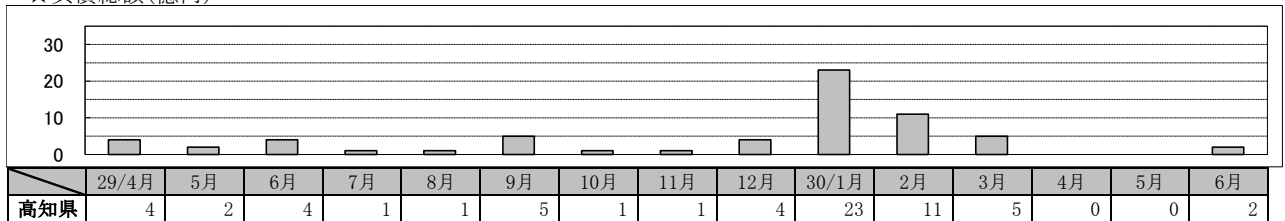
★前年同期比(%)



[資料:東京商工リサーチ]

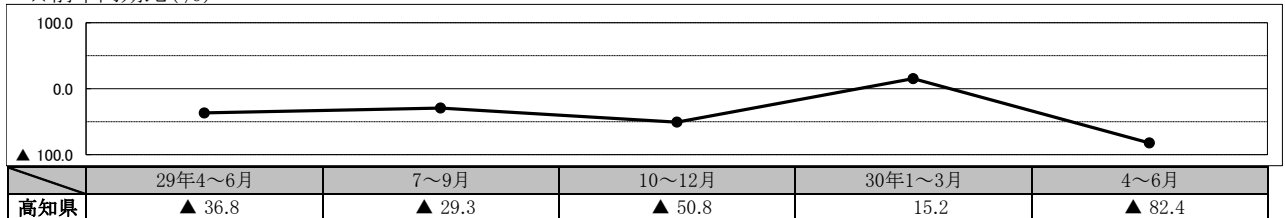
◎負債総額(高知県)

★負債総額(億円)



[資料:東京商工リサーチ]

★前年同期比(%)

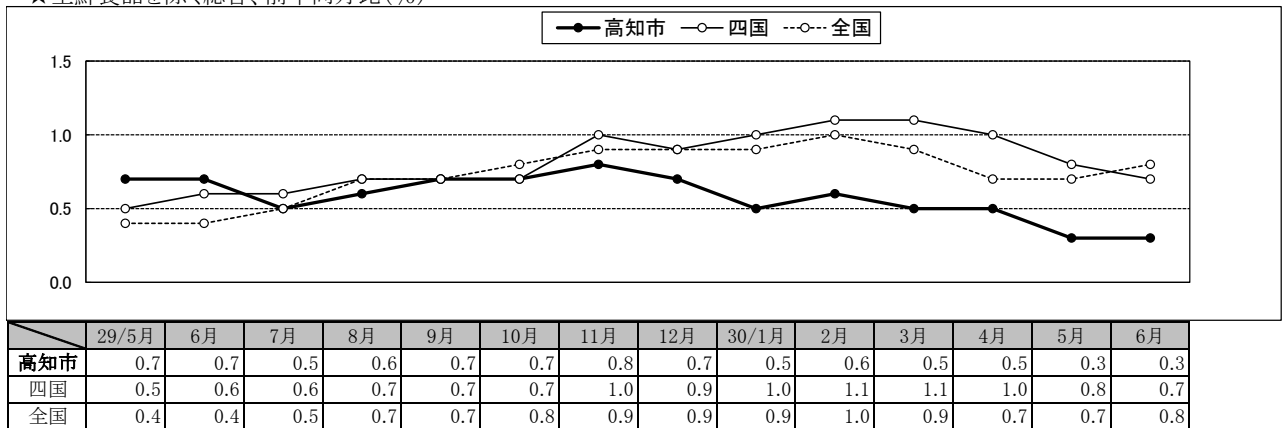


[資料:東京商工リサーチ]

消費者物価 前年を上回っている

◎消費者物価指数(平成27年基準)

★生鮮食品を除く総合、前年同月比(%)



[資料:総務省]

県内地域経済に関する生の声

【個人消費】

- 衣料品は紳士服、婦人服ともに総じてみて低調な状況が続いているものの、腕時計などの高額商品は富裕層を中心に好調に推移した。食料品は家事の時短化に役立つ半調理品や買い物に行かなくてもいいようにストックできる冷凍食品が好調であった。
(大型小売)
- SNSで取り上げられることの多い若年層向けのポイントメイク商品の品揃えを強化し、取扱い店舗を増やしたことにより売上が伸びた。(ドラッグストア)
- ハネムーンや現地挙式としての人気が高いハワイ方面が好調を維持しているほか、ヨーロッパやアジア方面も濃淡はあるものの、順調に伸びている。(旅行)

【生産活動】

- 重要港湾における工事用の需要は引き続き高水準で推移しており、豊富な受注残を抱えている。(船用クレーン)
- 国内における防災関連やインフラの長寿命化等の公共工事を中心に需要が伸びている。(建設用機械)
- 東南アジアの日系企業への需要は比較的安定しているほか、ヨーロッパからの受注やインドでのサンプル販売の実施など、総じてみれば順調に推移している。(窯業・土石)

【雇用情勢】

- 人手を多く必要とする店舗は、顧客の需要に応じた商品提供をすることができなくなっている。当社独自の対策として、店員の紹介制度を導入し募集を行っている。(小売)
- 人員不足による影響は各部署で発生しており、現在員が手分けして残業するほか、他部署への応援といった形で対応している状況。(宿泊)
- 慢性的な人手不足については、工期の延長で対応している。(船用クレーン)

お問い合わせは

TEL(088)822-9177

総務課（内線710）又は

財務課（内線720）へ

FAX(088)823-8335